

## 第 24 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA アジア大会 (ホール審査) 総評 コンチェルト各部門

### ●審査員 A

I 部門では小学生の子供たちの熱演に感動しました。カルテットに怖気づいてしまうことなく楽しんで演奏されており、テクニク的にも音楽的にも完成度の高い方が多かったです。

AA 部門では曲も長くなりますが、メリハリのある表現力豊かな演奏が多かったと思います。

AB 部門では全員グレツキの作品でしたが、それぞれ曲のスタイルに合った演奏で感心しました。今後もアンサンブルを楽しんで頂きたいと思います。

ショパニストコンチェルト A 部門ではお二人共にショパンの 1 番のコンチェルトでしたが、崩壊することなく完奏され感心しました。特に金賞の方はアマチュアとは思えない完成度の高い演奏で驚きました。今後も研鑽を積んで頂きたいと思います。

### ●審査員 B

カルテットとのびのびと音楽を作り上げ、アジア大会で素晴らしい演奏をされた若いピアニストの皆さんの姿に感心しました。

### ●審査員 C

1. 芯のある豊かな響きの音：どの音も、肘ではなく腕から弾きます。
2. 抑揚をつけましょう
3. 無理に鍵盤を押したり叩いたりせずに、体の重さをバランスよく使いましょう。
4. スラーとスラーの間の呼吸を意識しましょう
5. 曲の形式を感じて弾きましょう
6. 肩から指先は繋がっているという意識を常に持ちましょう
7. レガートに弾くために、腕を正しく使いましょう！

### ●審査員 D

・アンサンブルで気持ちが盛り上たてられると、tempo が一人よがりになってしまう傾向が多くみられました。

・演奏には主観的であること、アピールがあることは勿論大切なことですが、同時に知と情をコントロールする為、客観的な耳も必要です。客観性を養う為にも、コンチェルト部門参加者の皆様は、大変貴重な機会に恵まれていらっしゃいます。

・演奏前から演奏終了まで終始、皆様のわくわく、心から演奏を楽しまれるお姿を目のあたりにして、こちらまで幸せな気持ちになりました。

### ●審査員 E

・弦楽器とのバランス、Hall トーンをよくきいて楽しめている人とそうでない人の差

・情景描写がよく表現できていてバランスよく音色の多彩さも際立っていた。とてもよくひけているにもかかわらず姿勢が悪いため、音が遠くにとばないのでおしい。顔を上げることでひびきも見た目も激変するので心掛けていただきたい。

・弦楽器とのやりとりが、自然で楽しんでいる様子がすばらしかった！

・オケが主旋律を奏でているときにピアノの音量が出すぎてしまうのもおしい。いつもバランスに耳を傾けましょう。

## ●審査員 F

初来日のカルテットと小さいクラスの部門は圧巻ですばらしいレベルでした。毎年指導者のレベルも上がっているのだと思いますが、ご家族と参加者のマナーの良さや、誠実に勉強してきた姿がうかがえます。弾いたあとの満足感が笑顔で伝わってくることも多く、本当にアンサンブルを楽しんでいる様子がうれしいです。少しずつクラスも上がると曲の難易度も変化するとテクニク的にも手に入らない方との差がみえてきます。テンポの中でテクニクを入れて進めるとタッチが荒くなったりと演奏者の基礎力が問題となるので、その先へ進めるように勉強を深めてチャレンジして欲しいですが、アンサンブルのすばらしさはこの部を通して身につくことが良いと思います。ショパニストは素晴らしくて感動のステージでした！！